



蛍光灯ペンダント
(天井付け専用型)

ご使用になられる前に必ずお読みください

この取扱説明書には取り付け方やランプの交換方法、お手入れのし方などご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

仕様

品番	適合ランプ	使用電圧
PF-2432	E26 電球形蛍光ランプ EFA13W以下×2	100V (±6%)
PF-2433		

この取扱説明書のマークについて

- 警告** 説明書中の『警告』は、重大な人身事故の原因となる危険を示します。
- 注意** 説明書中の『注意』は、物損及び障害事故の原因となる危険を示します。
- このマークのついている説明文は、必ず守ってください。
- このマークのついている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

取り付け 取り扱い上の注意

警告

- 一般屋内用器具です。屋外や浴室など湿気が多い場所では使用できません。
★感電事故や漏電の原因となります。
- サウナ室へは取り付けないでください。
★器具の破損によるケガや漏電による火災、感電事故の原因となります。
- 破損したりガタついている配線器具（ダクトレール）には取り付けないでください。
配線器具（ダクトレール）を交換してから器具を取り付けてください。
★器具の落下事故や漏電による火災、感電事故の原因となります。
- ダクトプラグの一部が欠けていたり、ヒビが入っている場合には、絶対に使用しないでください。
★器具の落下事故、ショートや火災の原因となります。
- 器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。
- 器具の下面を布などで覆わないでください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。
- エアコンの吹き出し口の近くに設置しないでください。
★器具がゆれて破損する原因となります。

注意

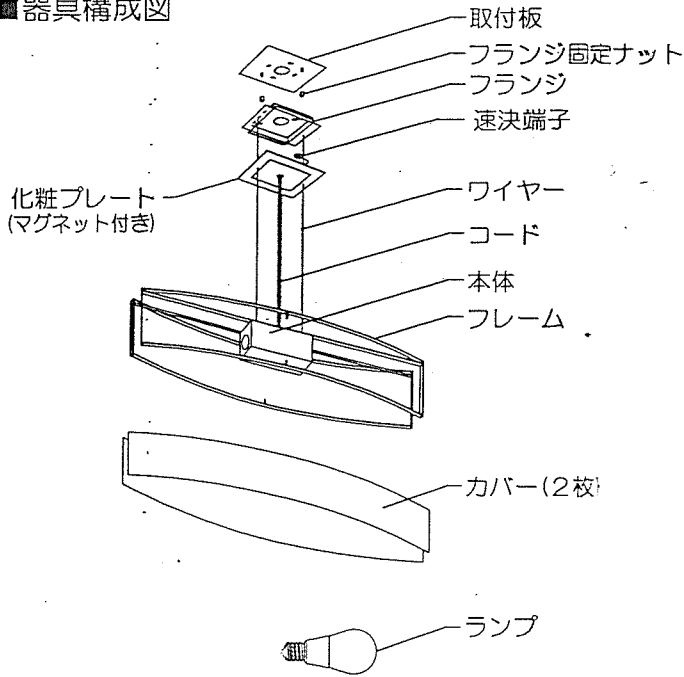
- AC100V専用です。必ずAC100Vの電源で使用してください。
★定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱し、火災の原因となることがあります。
- この器具は周囲温度5℃～35℃の中で使用してください。★過熱して、発煙や発火の原因となります。
- 調光器（ライトコントロール）との併用はできません。★点灯不良や照明器具、調光器の故障の原因となります。
- 温度の高くなるもの（ガスレンジやエアコンの吹き出し口など）の近くに設置しないでください。
★器具カバーの変形や火災の原因となります。
- 殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。★変色や材料の変質によるカバーのヒビ割れなどの原因となります。
- ヒビの入ったカバーや、一部が欠けたカバーは使用しないでください。★カバーの破損、落下の原因となります。

各部の名称

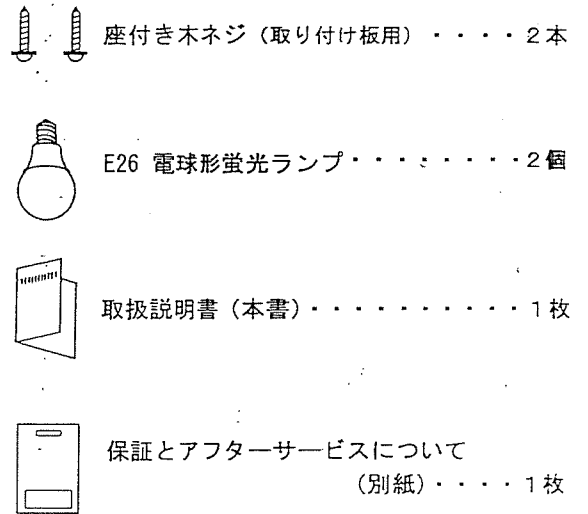
(説明図は、一部を省略抽象化した図です。)

(不足している部品があった場合には、お買い上げ店または山田照明サービス受付窓口までご連絡ください。)

器具構成図



付属品

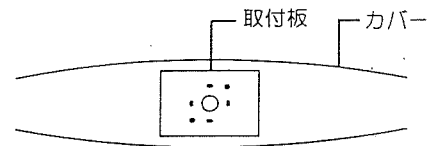
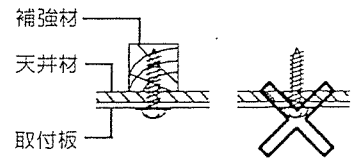


取り付け場所の確認

警告 配線器具は、必ず補強材のある場所に取り付けてください。
★補強材のない場所に取り付けると器具の落下事故の原因となります。

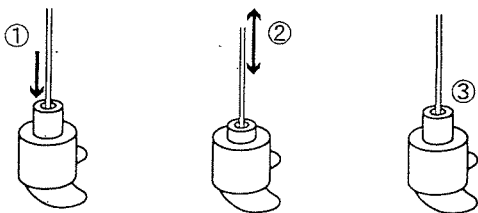
注意 建築の構造によっては、付属の木ネジで取り付けられないことがあります。そのような場合には、器具取付場所の構造を確認の上、適切な長さの木ネジにて取り付けてください。

注意 本器具には方向性があります。取付板を天井に取り付ける際には、取り付けたい器具の向きに注意してください。



つり下げ高さの調節方法

器具を取り付ける前に、つり下げワイヤーの長さを、つり下げる寸法に調節します。

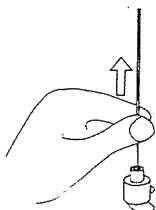


- ①ワイヤーストッパーを押し下げます。
- ②ストッパーを押し込んだ状態でワイヤーの長さを調節します。
- ③ワイヤーストッパーを離します。

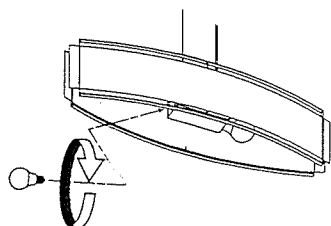
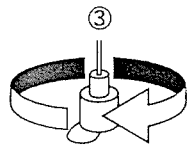
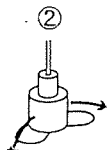
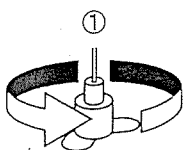
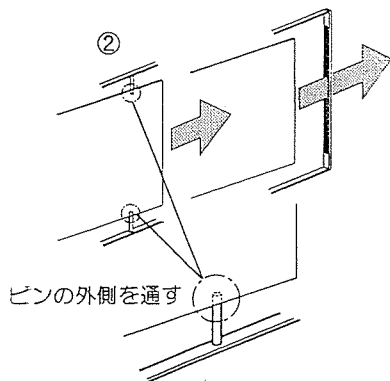
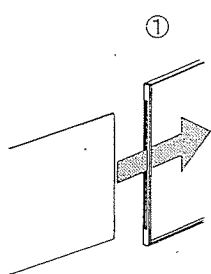
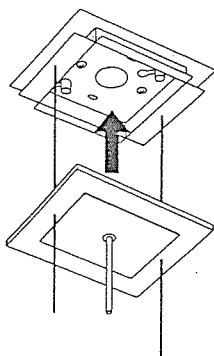
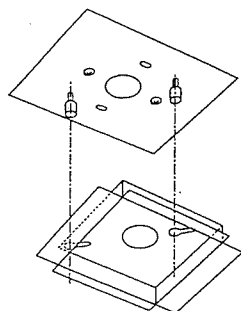
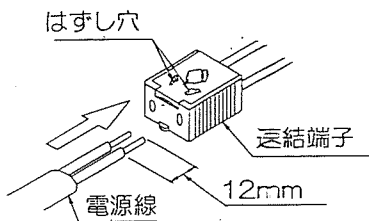
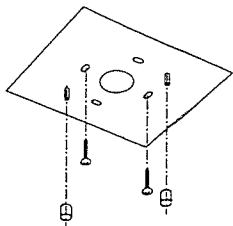
取り付け方

注意 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

取り付ける前に、つり下げワイヤーとつり下げコードのよじれを取り除きます。



- ①ワイヤーのよじれを取り除きます。
つり元(本体側)のワイヤーを指で挟み、しごくように手を移動させながらよじれを取り除きます。
- ②コードのよじれを取り除きます。
ワイヤーと同様にコードのよじれを取り除きます。



1. 電源線の被覆を剥きます。

- 電源線の被覆を速結端子のストリップゲージ (12mm) に合わせて剥きます。

2. 取付板を付属の木ねじで取り付けます。

3. フランジを取付板にセットします。

- ①固定ナットを取付板の框え込みネジにねじ込みます。このとき、最後まで締め込まず、2、3回回転し仮止めにします。
- ②フランジのダルマ孔に固定ナットを合わせ入れます。
- ③固定ナットを締め込み、フランジを固定します。

4. 電源線を接続します。

- 電源線を速結端子の電源線差し込み穴に差し込みます。
※電源線をはずす場合には、幅6mmのマイナスドライバーをはずし穴へ真っ直ぐ差し込むとはずれます。

5. 化粧プレートを押し上げ、マグネットでフランジに取り付けます。

6. カバーを取り付けます。

- ①フレーム側面のスリットにカバーを通します。
- ②中央のピンの外側を通して、反対側のフレームのスリットに通します。
- ③両側のフレームからカバーが均等に出るようにカバーの位置を調節します。
- ④同様にもう一面のカバーを取り付けます。

7. つり下げ高さの微調整をします。

- ①「●つり下げ高さの調整方法」に従って、器具が水平になるようにつり下げ高さを調節します。
- ②コードを本体の中へ押し込み、つり下げワイヤーの長さに合わせてます。

8. 器具の傾きを調整をします。

器具に傾きがある場合に調整します。

- ①ワイヤーストッパーの化粧ナットを緩めます。
- ②溝に沿ってワイヤーストッパーを左右に移動させ、器具の傾きがなくなる位置を探します。
- ③位置が決まったら、化粧ナットを締め込み固定します。

9. ランプを取り付けます。

器具の下から手を差し入れてランプをソケットにねじ込みます。

- ⚠注意 ランプは乱暴に取り扱わないでください。
★ランプが割れてケガをする恐れがあります。

スイッチ操作

壁スイッチにて ON-OFF 操作を行います

お手入れについて

△注意

①必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

- こまめに清掃を：照明器具やランプが汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。

△注意



- ランプの交換やお手入れをするときは、必ずスイッチを切ってから取りかかってください。
★感電事故の原因となります。



- スイッチを切った直後のランプは熱くなっています。絶対に素手で触らないでください。冷えてから交換するか、またはハンカチやタオル等を使って交換してください。★火傷の原因となります。

- 濡れた手で触らないでください。★感電事故の原因となります。



- ランプは乱暴に扱わないでください。★ランプが割れてけがをする恐れがあります。

- 適合ランプ以外の電球は使用しないでください。表紙の「■仕様」欄を確認し、正しいランプをご使用ください。
★不適合なランプを使用すると異常加熱による火災の原因となります。

- シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。
★器具に傷をつけたり、変色や変質の原因となります。

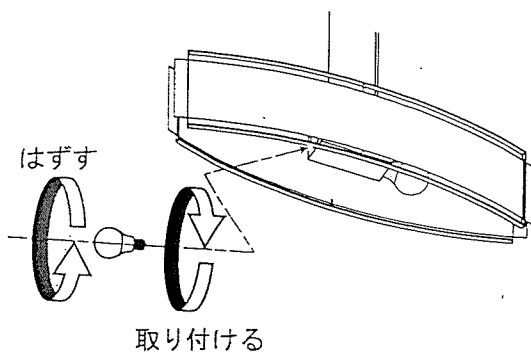
■ランプの交換

△注意

ランプを交換する時は、ぬれた手でさわらないでください。
★感電事故の原因となります。

△注意

ランプは乱暴に扱わないでください。
★ランプが割れて、ケガをする原因となります。



1. スイッチを切ります。

2. ランプを交換します。

器具の下から手を差し入れてランプを交換します。

■お手入れのしかた

1. スイッチを切ります。
2. ハタキや柔らかいハケ、ブラシなどでホコリを落としてから、目の細かい柔らかな布で軽く拭きます。



セードなどの素材が、和紙（和紙貼りアクリル板を含む）や木、竹、籐、布製の場合には、水や洗剤を使用しないでください。

★上記素材に水や洗剤を使用すると、汚れが素材に染み込んで落ちなくなります。

■アフターサービスについて

ご使用中、器具が音段と違った状態になりましたら直ちに使用を中止し、器具の品名（器具本体のラベルでご確認ください）、故障の状況、ご使用期間をご確認の上、お買い上げいただきました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口にご相談ください。